

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて町に考えを聞きます。

今回の一般質問で、あなたの生活に関わる内容はありますか？



16人中12人が登壇

町政を問う！

一般質問

9月4日・7日

📺 YouTube にて議会映像 配信中！



定例会・委員会も
ライブ中継します！

スマートフォンやパソコンから
ご自宅でも議会の様子をリアル
タイムでご覧いただけます。
身近な町政を知る機会として
ぜひお気軽にご覧ください。



また、各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込むと、
その議員の一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

CONTENTS

子育て・教育

- 子どもの睡眠についての取り組みは
秋葉富士子 P13
- 町内の小学校英語教育の現状と課題は
- 町内小学校の登下校の現状と課題は
前田 明弘 P13
- 不登校支援の充実を
北野 興地 P14
- 不登校児童生徒の学びの支援は
赤川 操恵 P16
- 不登校児童・生徒に温かい支援を
山下 享司 P17

安全・安心

- 大規模災害に備えて
秋葉富士子 P13
- 町民の命を守る防災対策を
北野 興地 P14
- 住民参加による「災害時電源ネットワーク
づくり」の推進を！
間瀬 宗則 P16

まちづくり

- 大人気の於大公園！東浦っ子を優先に
- 早く開通して藤江線！
間瀬 元明 P14
- 名古屋半田線、知多刈谷線の道路工事の現況は！
間瀬 宗則 P16
- まちづくりで都市基盤整備に求められるものは
久松 純志 P17
- 主要地方道「名古屋碧南線」橋梁架け替え工事
の進捗は
山下 享司 P17

くらし

- 石浜・生路にも資源ごみステーションを！
間瀬 元明 P14
- ごみステーションの環境改善と家庭系ごみ
の減量目標達成を
赤川 操恵 P16
- ジャンボタニシの駆除とコメ収穫被害
救済補助を
山田 眞悟 P18
- 資源ごみ盗難防止対策は
大川 晃 P18

健康・福祉

- 高齢者エアコン設置補助事業の拡充を
大川 晃 P18

その他

- 非核・平和都市として理念継承と平和行政
の推進を
- 超過勤務時間解消に向けた取り組み
の進捗状況は
- ハラスメントの根絶と未然防止で
住民サービス向上を
杉下久仁子 P15
- 町施設の管理運営と指定管理者制度の活用を
- 町職員の適正な労働時間管理と
メンタルヘルス対策は
森 靖広 P15
- 副首都法は歓迎できるものか
- 町長の政策指針「東浦町をアップデート！
～ここから、未来へ～ ロードマップ」
の進展は順調か
山田 眞悟 P18

Q「睡眠教育サポートブック」活用



あきば ふみこ
秋葉富士子
議員



A 取組に有用な教材の一つである

Q 愛知県が委託事業として実施した「睡眠教育プログラム」の内容とアンケートを報告した「睡眠教育サポートブック」を小中学生の睡眠の取り組みに活用することについての見解は。

A 本町の取り組みに有用な教材の一つであると考えている。今後は養護教諭部会等を通じて各学校の実情に応じて参考資料として活用を推進していく。併せて学校と家庭が連携した取り組みにつなげていき、必要に応じて保健・福祉分野の関係部署とも連携していくことが重要であると考えている。

Q 乳幼児期の睡眠についての本町の取り組みは。

A 妊娠期から乳幼児期にかけて乳幼児の睡眠を含めた生活習慣の形成を支援する取り組みを実施している。妊婦訪問、出産後の電話相談、訪問等で新生児の睡眠の特性と発達段階に応じた睡眠環境の整備についての指導を行っている。乳幼児健診においては、保健師等の専門職が乳幼児の発育・発達状況の確認とともに、適切な睡眠環境や生活リズムの大切さについての相談指導を行っている。

「大規模災害に備えて」

Q 上下水道の寸断・停電時に簡易トイレの備蓄活用を更に広く住民に啓発することを提案するが、見解は。

A 引き続き、町広報紙、防災訓練等で災害時のトイレの重要性等について啓発し、町全体の防災力の向上につなげていきたい。

Q 小学校英語教育の現状と課題は



まえだ あきひろ
前田 明弘
議員



A 効果的な授業の進め方や指導法

Q 小学校3・4年生における英語指導は。

A 教科ではなく外国語活動として教育課程に位置付けられ、目標は音声や基本的な表現に慣れ親しむことやコミュニケーションの素地を養うことである。

Q 小学校5・6年生における英語指導は。

A 外国語によるコミュニケーション能力の基礎を養うことを目標としている。さらに中学校での英語教育を見据えて、聞くこと、話すことに加えて、読むことや書くことの活動も本格的に取り入れる。

ている。

Q A・L・Tの活動の方向性は。

A A・L・Tとは外国語指導助手のことである。小学校7校へ2名、中学校3校へ1名派遣している。各校を巡回して指導や授業の支援を行っている。生きた英語の音声や異文化に触れる機会を提供し、児童生徒の学習意欲を高めることを主な活動の方向性としている。授業内外を通じて児童生徒と交流し、自分の英語がA・L・Tに通じたという実感や達成感を得られるよう支援している。

「小学校の登下校の現状と課題」

Q 個別登校に切り替える考えは。

A 集団登校の持つ交通安全や防犯上の意義を保護者に十分理解していただき、学校や地域の実情に応じた対応を模索しながら、児童の安全を第一に考えた取り組みを進める。



▲あいち健康の森健康科学総合センター
あいち健康プラザ
睡眠教育サポートブック



二次元コード



▲小学校の英語教材

Q 於大公園！

東浦っ子優先に



ま せ もとあき
間瀬 元明
議員



A 相互利用協定で他住民と同様の金額

Q 「おもしろサイクル広場」の混雑状況、町内町外で利用料金を区分する考えは。

A 待たなくても済むような運用方法について委託事業者を含め、協議を進めている。有料施設の料金を区分する考えはない。

Q 「ふんすいひろば」は、子どもの水遊び場として貴重なため、より多く稼働してほしいが見解は。

A 現在、5月から9月までとしています。利用実態や気候等の状況を踏まえ、柔軟に判断する。



▲於大公園

いないが、公平性の観点からどのように認識しているか。

A 設置されていないことが、必ずしも場所のバランスとして公平性を欠くとは考えていない。

Q 住民の声などについて、どのような見解か。

A 町の窓口等に、場所を増やすことの見解・要望はない。

Q 石浜・生路地区へ常時出すことがでる資源ごみステーションの設置を要望する。

A 地区として拠点回収場所の設置は希望されていない。

早く開通して藤江線！

Q 国道366号と国道366号バイパスをつなぐ道路は、利便性向上のため開通が望まれるが。

A 現時点では、優先度が高い国道366号から町道藤江25号線までの区間を整備する計画。

Q 町民の命を守る

防災対策を



きたの こうじ
北野 興地
議員

A フェーズフリー^①の視点で取組む

Q 町民へのローリングストック（日常備蓄）の普及と習慣化への啓発、日常の買物の延長線上で行う備蓄、地域店舗との連携は。

A 防災マップや町広報紙等の活用と例年10月にイオンモール東浦の防災フェスでの啓発、11月開催の町総合防災訓練ではローリングストック^②に適した商品等を紹介予定。

イオンリテール株式会社と災害時物資調達の協定において、災害時の食料品等、物資の支援を得る。

Q 令和8年5月から車中泊避難場所となった「高根中央公園」へのマンホールトイレの設置を。

A 下水道管等の被災で使用でき



▲防災マップ

なくなる可能性や多額な整備費用をかけるより、簡易トイレや仮設トイレ等で対応可能と考える。

Q 緒川新田地区などから設置要望の屋外拡声子局の拡充は。

A 防災行政無線の屋外拡声子局は津波や高波、河川の氾濫など浸水想定区域を中心に設置。津波等浸水想定のない同地区への増設計画はない。

不登校支援の充実を

Q 約20人に1人が不登校となっている。不登校支援を教育行政だけでなく、福祉・子育て支援を含めた町全体の重要施策とする考えは。

A 児童生徒一人ひとりの状況や思いを受け止め、学校、家庭、関係部署関係機関が連携し、それぞれに応じた支援につなげる。対話と対面交流を基盤とした多様な学びの機会を確保し、不登校支援体制の更なる充実を図る。

①フェーズフリー…「日常時」と「非常時」の区別（フェーズ）をなくし（フリー）、普段の生活で便利なモノやサービスを災害時にも役立てる新しい防災の概念
②ローリングストック…日常備蓄。日常の食品や日用品を多めに買い、使った分を買い足すことで、常に一定の備蓄を保つ方法

Q ハラスメントのアンケート実施を



すぎしたくにこ
杉下久子
議員



A アンケート必要とは思っていない

Q 潜在的なハラスメントを放置すれば、職員が安心して業務に向き合えず、結果として住民への対応が遅れるリスクがある。住民サービスを守るためにも、全職員対象に実態把握のアンケートを実施すべきと考えるが、町の決断を伺う。

A 部署により運用の調整が難しい面もあり、制度の導入には至っていないが、令和8年7月から夜間や土・日・祝日の職員の業務用パソコンの利用制限措置を開始し、約11時間の勤務間インターバルを確保できる状況になる。

A 人事課内にハラスメント相談窓口の設置等を行い、相談が寄せられた場合は、内容に応じて弁護士に相談し、公平で透明性のある対応を心掛けている。

また、管理職を含む全職員を対象にハラスメント研修を行っている。

こうした対策を進めているため、現時点でアンケートが必要と考えていないが、必要な改善があれば柔軟に対応したい。

超過勤務時間解消の

取り組み状況は

Q 勤務間インターバル制度の導入検討状況を伺う。



▲核廃絶と恒久平和を願って
(今年の非核・平和パネル展、東浦町役場)

非核・平和都市としての 理念継承

Q 町が非核・平和宣言に込めた決意をどのように次世代へ継承していくのか見解を伺う。

A 役場ロビー等で非核・平和パネル展を開催する等の事業を通じて、次世代に継承していく。

Q 指定管理者制度の活用は



もり 靖広
森
議員



A 民間活力を最大限に活用

Q 過去の一般質問において、スポーツ施設への指定管理者制度の導入提案後、庁内でどのような調査や検討を行ったのか。また、当時の答弁から指定管理者制度の導入に対する町の認識や考え方に変化があるのか。

A 令和5年第3回定例会での提案を契機として、近隣市町のスポーツ施設で指定管理を受託する複数の事業者に対し、改めて調査を実施した。

本町の現在の利用状況および管理運営に係る経費等の諸条件を総合的に勘案すると採算を確保することが難しい旨の回答であった。



▲住民ニーズを効果的に対応する為
「指定管理者制度」の導入を(案)

制度活用の基本的な考え方は変わらないが、現時点で導入は難しい。

Q 公共施設再配置の進捗を踏まえ、管理運営の基本的な方向性をどの段階までに決定する考えか。

A 民間事業者の参入意向や提案内容の把握については基本計画の検討段階で、民間事業者へのサウディング型市場調査を実施予定。

「職員が安心して働ける環境づくり

Q 業務用パソコンを強制的にシャットダウンする取り組みの開始時期は。また、業務の優先順位の付け方、仕事の進め方や業務分担、職場全体の働き方の見直しは。

A 8年7月開始。平日21時以降は原則終了し、約11時間の勤務間インターバルを確保。管理職はタラにおいて、時間内に業務を終えるために、仕事の進め方や業務分担等を見直している。

Q 不登校児童生徒への支援は



あかがわ みさえ
赤川 操恵
議員



A 状況に応じ取り組んでいる

Q 既存の支援につながっていない児童生徒への対応は。

A 担任等が電話連絡や家庭訪問を継続し、状況の把握に努めている。

Q 不登校児童生徒に対して、タブレット端末をどのように活用しているか伺う。

A 児童生徒の状況に応じ、担任とオンラインで交流し、必要に応じて学習面や心理面での支援を行っている。

Q 愛知県は令和8年度から校内外の支援につながっていない中学



▶「ONE STEP みらい」パンフレット
(出典：愛知県ホームページ)

生を対象に、メタバース空間を活用した「ONE STEP みらい」を開始。対象となる可能性のある生徒や保護者へどのように情報提供を行ったか伺う。

A 担任等が電話連絡等で行った。現時点では利用を希望する生徒はいなかった。

「ごみステーション」の環境改善を

Q カラスによるごみの散乱被害の状況把握と対策について見解を伺う。

A 散乱被害は繁殖期を迎える4月から7月にかけて増加。生ごみを含む燃えるごみが回収日の前夜から出されていると、散乱被害にあう可能性が高くなる。対策として、カラスよけネットを設置。

Q ネットで十分な効果が得られていると認識しているか伺う。

A 正しい方法で利用すれば、有効な対策と考える。

Q 名古屋半田線令和8年度の工事内容

A 樹木の伐採に秋ごろから着手

Q 名古屋半田線、知多刈谷線の用地取得の最新の状況は。

A 8年8月末時点で取得済み用地の面積割合は各々約9割。

Q 名古屋半田線の8年度に着手する工事内容は。

A 埋蔵文化財の試掘調査実施のため支障となる樹木の伐採および整地工事に秋ごろから着手予定。

Q 8年度の工事着手にあたり住民への説明、周知は。

A 試掘調査前の準備であり、緒川新田区役員へ工事概要等を説明、当該区域内に回覧等で案内する。

Q 道路築造工事はいつから始まるのか。住民説明会の開催は。

A 埋蔵文化財調査の結果等を踏まえて判断する。工事着手前に住民説明会を開催する。

Q 知多刈谷線の本町内の工事はいつ始まるのか。住民説明会は。



ましせ むねのり
間瀬 宗則
議員



A 10年度以降、道路高架部の橋脚や基礎工事に着手する。工事着手前に住民説明会を開催する。

Q 道路の完了予定時期は。

A 名古屋半田線が11年度末、知多刈谷線が12年度末と公表。

「災害発生時の長期停電への備え

Q 「災害時電源ネットワークづくり」の取り組みの見解は。

A 電動車両を活用した住民参加型の支え合いは、地域の防災力を高める手段として有効であり、ネットワークの整備を進める。



- ◆名古屋半田線
 - ・延長：約2.4km(東浦町：約1.2km、阿久比町：約1.2km)、信号交差点4箇所設置
 - ・幅員：22m(4車線・中央分離帯あり)
- ◆知多刈谷線
 - ・延長：約1.2km(鉄道高架影響部：約0.4km)
 - ・幅員：一般部23m(2車線) ※知多市境から名古屋半田線区間高架部11m(名鉄河和線道路高架)

▲名古屋半田線・知多刈谷線ルート図

Q 都市基盤整備に 求めるものとは



ひさまつ ただし
久松 純志
議員

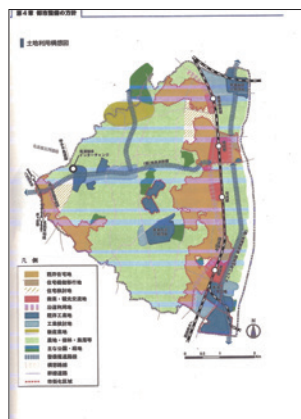


A 都市計画道路の見直しを検討

Q 令和2年度から12年度までの東浦町都市計画マスタープランは中間点を過ぎ、以下3点について現状と今後の展開と課題を検証。本町の土地利用の現状と今後の方針は。

A 土地利用構想図の区分により、工業検討地・新産業地・既存工業地として整備され、企業誘致が進められている。今後も計画的に基盤整備を進め、産業用地として土地利用を図っていく。

12年に向け、高規格道路名古屋三河道路が愛知県による都市計画決定に向けた手続きに合わせ、本町も道路整備を見据え町内の都市計画道路網の見直しや、土地利用の検討を進める。



▲東浦町都市計画マスタープラン

Q 活性化の軸となる道路整備の現状と12年度に向けた展開は。

A 幹線道路のうち、現在、都市計画道路知多刈谷線(完了予定時期12年度末)・緒川南北線(暫定供用開始予定時期10年度)・藤江線(23年頃の開通の目標)の事業を実施している。整備に向けては依然として様々な課題が残され名古屋三河道路の影響を踏まえた上で各都市計画道路の必要性や整備効果を見極めることの必要がある。

Q 公共交通の利便性の向上は。

A 持続可能で利便性の高い公共交通を維持発展させる取り組みとして、自動運転技術を搭載した車両の活用、地域住民が支え合う移動支援である「ウラ・うらら」といった共助版ライドシェアなど検討。利用促進を推進し、まちづくりの施策と連携し誰でも使いやすい公共交通の充実を図る。

Q 不登校児童生徒に 温かい支援を

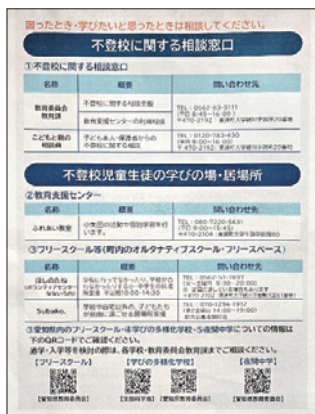
A 支援のあり方を研究していく

Q 県外民間フリースクール^①等の利用に保護者の経済的負担が伴う。保護者の経済的負担の軽減支援を。

A 先進地や他自治体における補助制度の対象や内容、利用状況、効果、課題を調査し、支援のあり方を研究していく。

Q 本町の民間施設ではどのような種類の施設がいくつあるのか。

A フリースクールの「ぽぷり」は学校や教育支援センター以外で、不登校児童生徒に学習活動、教育相談を通じ社会的に自立することを目指す支援を行っている。オル



▲不登校に関する相談窓口等のパンフレット



やました きょうじ
山下 享司
議員



タナティブスクール^②の「ほしのたね」は興味や関心に基づいた柔軟なカリキュラムを提供し、児童生徒中心の学びを重視。フリースペース^③の「Subono」は児童生徒の居場所、交流の場として、安心して過ごせる場所を提供している各1箇所づつ。

名古屋碧南線の 橋梁架け替え工事

Q 10年以上前から計画の緒川地区から刈谷市へ至る4橋の緒川橋・境川橋・逢妻橋・市原橋の架け替え工事の用地買収の進捗状況について。

A 本町地内は一部用地取得が行われた。令和7年度末時点では取得面積割合は本町内が5割、刈谷市内は交渉を進めていく状況で、全体で約1割。

Q どのような課題があるのか。

A 建物や設備の移転先の確保や移転時期の調整が課題である。

語句
説明

- ①フリースクール…不登校の児童生徒が学習や体験活動を通して社会的自立を目指す居場所
- ②オルタナティブスクール…既存の学校とは異なる独自の教育理念やプログラムに基づき、個性を伸ばす学びの場
- ③フリースペース…児童生徒が、自分のペースで自由に過ごせる居場所、交流の場

Q 副首都法は

歓迎できるものか



やまだ しんご
山田 眞悟
議員



A オール愛知の精神で取り組む

Q 副首都法は歓迎できるものか

どうか町の見解を求める。

A 愛知県が先頭に立ち、県内市町村が連携・協力して「副首都」実現に向けた取り組みを全面的に賛同する。

員が制度を利用している。

「ジャンボタニシの駆除！」

Q 稲を食い荒らすジャンボタニシの駆除とコメ収穫被害救済補助を求める。

A 冬期に多面的機能支払い交付金を活用して用排水路の「泥上げ」を行う。越冬個体を減少させること等被害情報を共有して被害防止策を取り組む。

「町長の政策指針を問う」

Q 「まち・ひと・しごと創生ビジョン・総合戦略」を問う。

A 総合戦略では、「結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる」「産業振興による地域活力のあるまちをつくる」「地域資源を生かした魅力あるまちをつくる」の基本目標を定めて進めている。

「役場職員の採用状況」

Q 役場機能の強化・活性化の提起、カムバック採用、県への職員派遣の実態、子育て部分休暇導入を伺う。

A 愛知県への派遣職員は4名となっている。子育て部分休暇は、令和8年8月1日現在で7人の職



▲稲を食い荒らすジャンボタニシ

Q アルミ缶の

盗難被害



おおかわ おさむ
大川 晃
議員



A 見過ごせない問題と認識

Q 被害届の提出した件数は。

A 令和7年度が3件。8年8月末現在で5件。

Q これまでの対策と効果は。

A 被害が依然として続いていることから、これまでの対策では十分な抑止効果が得られていない。

Q 防犯カメラの設置支援は。

A 東浦町犯罪行為等対策防犯カメラ貸与事業を実施しており、1カ月間防犯カメラを無償で貸与している。

Q 位置情報機器を活用は。

A 位置情報の取得及びその利用には、法的な整理を要する面もある。



ることから、実証の可否や実施方法について、半田警察署と協議していきたい。

Q 資源ごみ等持ち去り防止条例の制定の見解は。

A 本町の条例で「町長の指定する事業者以外の者は、資源ごみを収集し運搬してはならない」と定めているが、罰則等は設けていない。今後は罰則規定の整備の必要性について、先行自治体の事例やその効果を参考にしながら判断する。

「高齢者エアコン設置補助金事業」

Q 成果検証と支援対象の拡充は。

A 7月15日の受付終了までに789件の申請があり、当初想定していた執行残高約850万円を大きく上回った。

本事業に対するニーズは高く、エアコンの設置や買い替えを促す一定の効果があった。子育て世帯をはじめ、多世代へ対象を拡大することとを、現時点では考えていない。

議会トピックス

GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！
議会の動き

8/17
㊦

電子投票機の
デモ体験を
しました！

「東浦町の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例」の制定に伴い、実際に端末を操作し利便性を確認しました。令和9年の町議会議員選挙と町長選挙から使用します。



5/31
㊦

東浦町消防団消防操法大会
に参加しました！



8/25
㊦

第37回愛知県町村議会広報
研修会に参加しました！

「大川 晃議員
に対する問責決議」
を可決

6月3日に開催された知多中部広域事務組合議会臨時会を無断欠席した大川晃議員に対し、十分な説明責任を果たしていないとして謝罪等を求める問責決議案が可決され、大川議員が謝罪した。

※知多中部広域事務組合議会議員の任期
令和7年5月14日から



傍聴席の耳と目 傍聴された方にアンケート

傍聴された方にアンケート用紙を配付し、ご意見・ご感想を聞きました。今定例会では32名に回答いただきました。一部を要約して紹介します。

一括質問と一括答
弁方式は聴く方が
疲れる。

傍聴席から町当局
席が離れているので
誰が答弁しているの
か分かりにくい。

複数の議員で質問
が重複しており非
効率。議員間で質
問を共有し、役割
分担できないか。

質問と答弁が形式
的で本質的な理念
や政策の意図がよ
く分からない。

ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！

いただいたご意見・ご感想は、議会事務局だけでなく、議員と町当局にも共有しております。ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！次の定例会日程は裏表紙でご確認ください。

令和8年熊本地震被災地へ義援金を

町議会では、大規模災害発生時に被災地へ義援金を贈っています。令和8年熊本地震におきましても、被災地の早期復興を願い義援金(10万円)を熊本県に贈りました。

甚大な被害を受けた皆様に、お見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を議員一同、心よりお祈りいたします。

報告します／東浦町議会議員の 請負の状況の公表

制定の趣旨・経緯

地方自治法の改正により、議員個人が年間(一会計年度)300万円以内で町との請負契約の締結が可能になりました。これを受けて、本町議会では透明性確保のため、請負の状況を公表することとしています。令和7年度の請負報告はありませんでした。